

普及活動情勢報告（令和6年2月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

産地の維持発展を目指して

～西土佐支所米ナス部会総会～



1月19日、JA高知県西土佐支所で令和5年度米ナス部会総会が開催され、部会員19名が参加しました。

総会では、5年度の活動報告と6年度の事業計画の協議を行い、「安心・安全な農産物の生産と、消費者に選ばれる産地作り」「生産技術の向上と、農家経営の安定」に向けた1年間の活動計画が承認されました。

農業改良普及課は、収量・品質向上に向けた勉強会を実施し、光合成に關与する植物生理について説明を行いました。部会員からは、「農家経営の安定のため、今以上の収量・品質向上に向けて研さんが必要である」という意見が出されました。

今後は、JA北幡営農センターと協力しながら「雨よけ栽培マニュアル」を作成し、生産振興に取り組んでいきます。

新商品のお披露目へ

～令和5年度6次産業化セミナー成果発表会～



1月25日、高知市で6次産業化セミナー成果発表会が開催され、管内で6次産業化に取り組む事業者2組が参加しました。

農業改良普及課は、年間5回開催された当セミナーの実践支援や関係機関で構成する支援チーム会において新商品開発に向けた課題解決を行ってきました。

当日は事業者からセミナーで取り組んだ内容や新商品の概要について発表がありました。発表後にはそれぞれの展示ブースにおいて試食や商品説明の時間が設けられ、参加者からは「魅力ある商品になっているため、ぜひ販売してほしい」、「このくらいの値段なら買いやすい」などの意見が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も6次産業化に取り組む事業者に対して関係機関と連携しながら支援していきます。

若手農家が小学生へ‘農業’を教授！ ～小筑紫小学校 出前授業～



1月27日、宿毛市の小筑紫小学校で宿毛4Hクラブが出前授業を行い、児童63名、4Hクラブ員7名、JA青壮年部3名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課は、小学校及びクラブ員との日程調整や授業で使用する資料の作成支援を行いました。

当日は昨年、宿毛市で就農した農家が「何故農業を始めたのか」、「農家という職業」等について説明し、児童らに農業という職業について知ってもらいました。授業後は、参加者全員で餅つき・大福作りを行い、参加者全員楽しく学んでいました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。

先輩農家から学ぶ！

～黒潮町若手キュウリ現地検討会～



1月31日、黒潮町田ノ口の生産者ほ場で第3回黒潮町若手キュウリ現地検討会を開催し、生産者13名、関係機関2名が参加しました。

会では、ほ場主である先輩農家から耕種概要や栽培管理のポイントについて説明してもらい、これまでの産地の生育状況やこれからの栽培管理、生育調査の状況について情報共有しました。

農業改良普及課は、資料に基づき今後の栽培管理における注意点やポイントについて説明しました。参加者からは「この品種の特徴や栽培方法は？」、「これから続く雨への対策は？」等の質問がありました。

今後も、定期的に現地検討会を開催し、若手キュウリ農家の栽培技術向上に取り組んでいきます。

正しく簿記を行うために！

～大月町簿記講習会～



2月13日、大月町の農村環境改善センターで簿記講習会を開催し、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課は、青色申告を行うための決算書の作成について、農業簿記ソフトの使用法、記入方法を説明しました。生産者からは、「収入保険の記入はどうすればよいか」、「マイナスが出たが、どこが間違っているだろうか」などの声があり、それぞれ疑問に思っている事を相談しながら決算書の作成を進めていました。

今後も、各地区で定期的に簿記講習会を開催し、生産者が決算書を作成して、自身の経営状態を正しく把握できるよう支援していきます。

株当たりの売り上げアップ

～西土佐支所シシトウ部会総会～



2月13日、JA高知県西土佐支所で令和5年度シシトウ部会総会が開催され、部会員17名が参加しました。

総会では、5年度の活動報告と6年度の事業計画の協議を行い、「安心・安全な農産物の生産と、消費者に選ばれる産地作り」に向けた1年間の活動計画が承認されました。

農業改良普及課は、非辛みシシトウの品種特性や収量・品質向上に向けたかん水管理について講習しました。また、SAWACHIの紹介と「農産物の出荷量に関するデータ等についての同意」を依頼しました。部会員からは、「今までの自分の管理はかん水が不足していたかもしれない」という意見がありました。

今後は、JA北幡営農センターと協力しながら非辛みシシトウ推進及び農家の所得向上に取り組んでいきます。